

誰かのために、何かはじめてみたいと思っっているあなたへ

訪問型サービスの元気応援サポーター募集

▼問い合わせ先 高齢者支援課 包括支援センター班(西合志庁舎)
☎(242)1124

市では、4月から介護予防・日常生活支援総合事業(以下、総合事業)を始めました。

総合事業では、高齢者の日常生活の自立をサポートするため、利用者宅を訪問し、利用者と一緒に掃除や洗濯、買い物、調理などの生活援助を有償で行なう元気応援サポーターを募集して

います。

●サポート対象は、平成28年4月1日以降に要支援1または2に認定された人、聞き取りにより対象と判断された人です。

●サポート内容に、身体介護(排泄、食事介助、清拭、入浴など)は含まれません。

元気応援サポーターになるまで

①元気応援サポーター養成講座(全6回)を受講



②市シルバー人材センターまたは市社会福祉協議会に登録



③元気応援サポーターとして利用者宅を訪問。掃除や買い物など日常生活に必要な行為を利用者と一緒に行なう。

●サポート提供時間の目安
利用者1人につき1回45分



元気応援サポーター養成講座

養成講座を受講することがサポーターへの第一歩です。誰かのために何かしたいと思っっているあなた。地域の高齢者と交流を深めながら、元気と自立を応援しませんか。

●とき・内容

とき	内容
10月21日(金)	介護予防、高齢者の現状
11月25日(金)	歯科衛生士による口腔講話
11月30日(水)	サポーターの役割
12月16日(金)	認知症、ロコモティブシンドローム
平成29年 1月25日(水)	対人マナー、緊急時の対応
平成29年 1月27日(金)	管理栄養士による栄養講話

※開催時間はいずれも午後1時30分～3時

●ところ ユーパレス弁天

2階トレーニング室

●持ってくるもの

室内履き、タオル、筆記用具、飲み物



※講座終了後、元気応援サポーターとして活動する場合は、市シルバー人材センターまたは市社会福祉協議会への登録が必要になります。

●受講料 無料

●申し込み先

ユーパレス弁天 トレーニング室
佐々木

☎(348)2626

●申込期限 10月7日(金)



人権教育シリーズ⑳

市では人権教育の推進のため、さまざまな活動や啓発に取り組んでいます。

このでは、取り組みの内容や情報を定期的にお知らせしていきます。

西合志中学校の取り組み

自分を語る取り組み

西合志中学校では「不合理や差別を見抜き、ともに立ち上がるなまかつくりをすすめよう」のテーマのもと、いろいろな機会を捉えて自分の思いや気持ちを語る取り組みを行なっています。ここでは、昨年度の取り組みをいくつか紹介します。

1年生は、5月31日～6月2日に実施した芦北での集団宿泊教室でクラスミーティングを行いました。自分がうれしかったことやつらかったこと、みんなに知ってほしいことなどを一人ずつ発表し、それを聞いた級友が感想



1年生のクラスミーティング

や意見を述べていきました。名前のこ

とや体のことで嫌なことを言われた経験や家族のことを語る子もいて、生徒たちは今まで以上に互いを理解し、つながりを深めることができました。

2年生は、1学期に家族の仕事の聞き取りとつづり、2学期に 水平社宣言(※)の学習に取り組む、学んだことと自分を重ね、つづったものを全員が発表。感想や意見を述べていました。3年生は今までの自分を見つめ直し、これからどう生きていきたいかを語り合いました。

この取り組みを通して、卒業してもつながり合い、誰かに何かあったときはすぐに寄り添うことができるようになりました。

※水平社宣言

自らの力による差別からの解放と、人間としての平等と自由の獲得を目指した宣言。1922年、全国水平社設立の際に出された。

現地学習

1年生は5月に水保病資料館を、9月に菊池恵楓園を訪れ、語り部から話を聞きました。差別する心のみにくさや、差別に負けずに生きる素晴らしさを学ぶことができました。

また、1年生で農業体験、2年生で職場体験、3年生で福祉体験と、全学年で体験学習を行ないました。地域の皆さんとの触れ合いを通して、ふるさとを愛する心、人への優しさや、人を尊敬する気持ちを学びました。これらの体験は、これから生徒たちの生きる糧になるのではないのでしょうか。

校内人権集会

2学期は、市の共通教材を学習しました。1年生は「汚染一揆」、2年生は「水平社創立と西光万吉」「沖繩学習」、3年生は「43項目の質問状」「統一応募用紙」の学習に取り組ましました。差別をなくす生き方や解放の歴史に学び、自分を振り返り自分の生き方を考えるものです。

これらの学習を受け、12月には校内人権集会を実施。それぞれの学びから考えたことを伝え合いました。

校内人権集会を終えた生徒の感想を紹介します。

「1年生は汚染一揆で学んだことや一人ひとりがこれから何に気をつける

かを発表しました。私も相手が傷つかないような言葉を使っていたと思います。また、先輩たちの発表を聞いて、自分たちも学年が上がるにつれて、一人のために立ち上がれるようになるになりたいと思いました。これからは、言葉だけでなく、行動に移せるようになりたいと思います。」



校内人権集会ではそれぞれが学び考えたことを伝え合いました

人権教育子ども学習会

合生文化会館で差別をなくす人権教育子ども学習会を行なっています。これは市教育委員会の主催で行なわれており、「生徒たちが差別やいじめに気付き、なくしていくために行動する力」を身に付けることが目的です。

この学習会では、差別に気付き、なくす力をつけるための人権学習、教科の学習、なまかつくりのためのレクリエーションなどを行なっています。